

# 平成 29 年安全大会開催

平成29年 6月27日(火)川越氷川会館において、「株式会社電成社 平成29年安全大会」を実施しました。当日は、弊社社員と協力業者様をあわせて、128名が参加しました。

冒頭山口社長より、安全意識を日々強く持ち、継続することの重要性、さらにこれらを企業文化へ昇華していくことを強く期待するとの話がありました。

また、菅田安全委員長からは、労災無事故記録の更新について、日頃の皆様の協力に感謝するとともに、安全委員会をさらに充実させることで、組織として安全管理に取り組んでいくことが宣言されました。

そして安全委員会メンバーからは、1年間の活動報告がされました。プロジェクターを使用しながら、パトロールで指摘した危険箇所の解説を行い、参加者への注意喚起を行いました。



次いで、今回ご臨席賜りました川越警察署交通課長、長屋警視より最近の交通事故発生状況についてご講話をいただきました。ご自身が担当した事例をわかりやすく紹介しながら、加害者・被害者どちらにとっても事故は悲惨である、と強調されました。さらに、当日配付資料「飲酒運転の撲滅に向けて」についても説明していただき、最近増加している路上寝込み事故とともに注意、啓発を促されました。

さらに、8名の社員が永年勤続表彰を受け、また前回安全大会以降入社した新入社員の紹介が行われました。



そして、基本指針と安全衛生管理目標が発表され、参加者全員の安全に対する意識を高めました。

## 基本指針：

「組織で進める安全管理、全員でつなげる安全文化」

## 安全衛生管理目標：

「みんなで声かけKY活動、一人でも自分にKY活動で、ゼロ災害を目指す。」

後半は、落語家であり、また講演会やラジオへの出演など多方面で活躍中の柳家 一琴(いっきん)さんを講師としてお招きし、「事故も破門も油断から～笑いでつなぐコミュニケーション～」と題してお話いただきました。

講演では、声に出して笑うことが健康に良い影響を与えることを紹介されました。またご自身の入門時の体験談、苦勞話をもとに、「とにかく1回やってみる。失敗して覚えたことは忘れない。」「慣れてくると油断が生じ、自信が過信へと変わる。」「何事も初めて行う気持ちで取り組む。」「笑いを取るための創造力は、ちょっとした工夫の積み重ねで、後々大きな差となる。」等参加者達の身の周りに置き換えてもためになることを、笑いを織り交ぜながら楽しく説明していただきました。

落語は、古典落語、「転失気(てんしき)」を披露されました。医学用語の意味がわからないのに、知ったかぶりをする人々の嘸で、一度嘘をつくと取り返しが付かなくなるという教訓を、身振り手振りを伴い、おもしろおかしく表現されておりました。

また、最後に紙切り芸を披露され、驚嘆の渦が巻き上がっていました。

講演後には、「油断しない、嫉妬しない、努力を怠らない」と述べていた講師の言葉を常に心に留めておこうという声が参加者達から聞かれました。

